

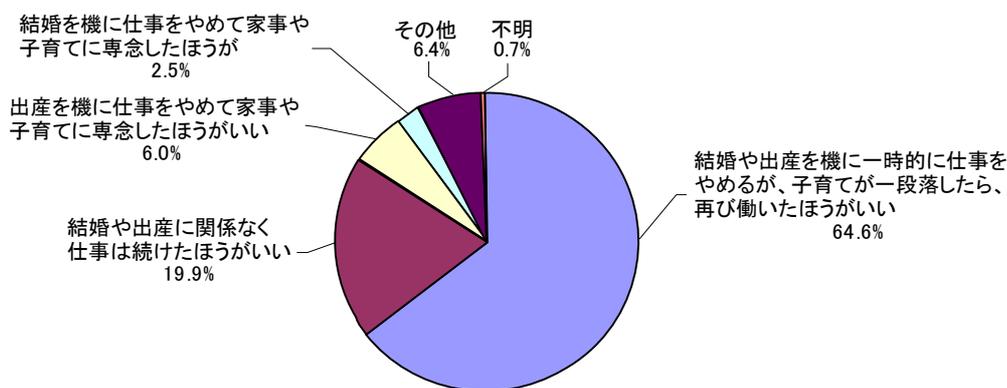
(3) 子育てと女性の就業

「結婚や出産を機に一時的に仕事をやめるが、子育てが一段落したら、再び働いたほうがいい」が 64.6%と最も多い。次いで、「結婚や出産に関係なく仕事は続けたほうがいい」が 19.9%となっている。

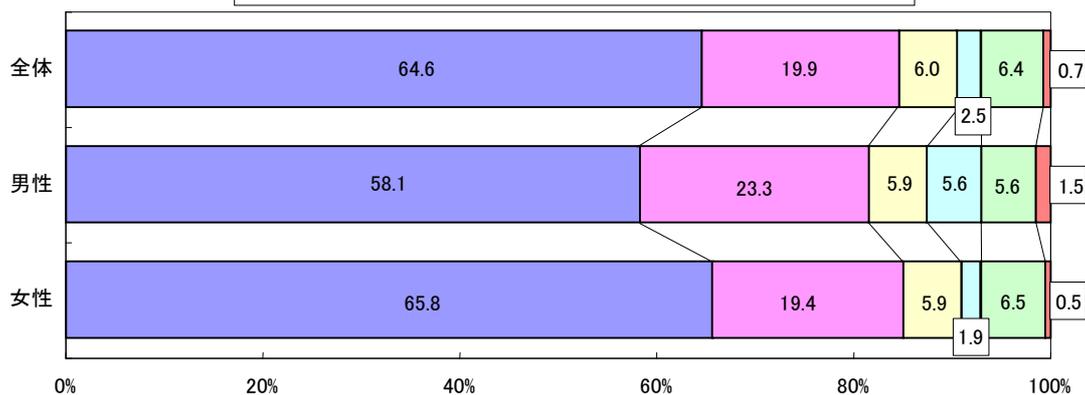
「出産を機に仕事をやめて家事や子育てに専念したほうがいい」は 6.0%、「結婚を機に仕事をやめて家事や子育てに専念したほうがいい」は 2.5%で、合わせて 8.5%と約 1 割弱となった。

小学校入学前児童の保護者と比べると(52 ページ参照)、小・中学生の保護者は、「結婚や出産に関係なく仕事は続けたほうがいい」の割合が少なく、「子育てが一段落したら、再び働いたほうがいい」の割合が多くなっている。

子育てと女性の就業 (単数回答 n=1792)



【男女別】子育てと女性の就業 (単数回答 n=1792)

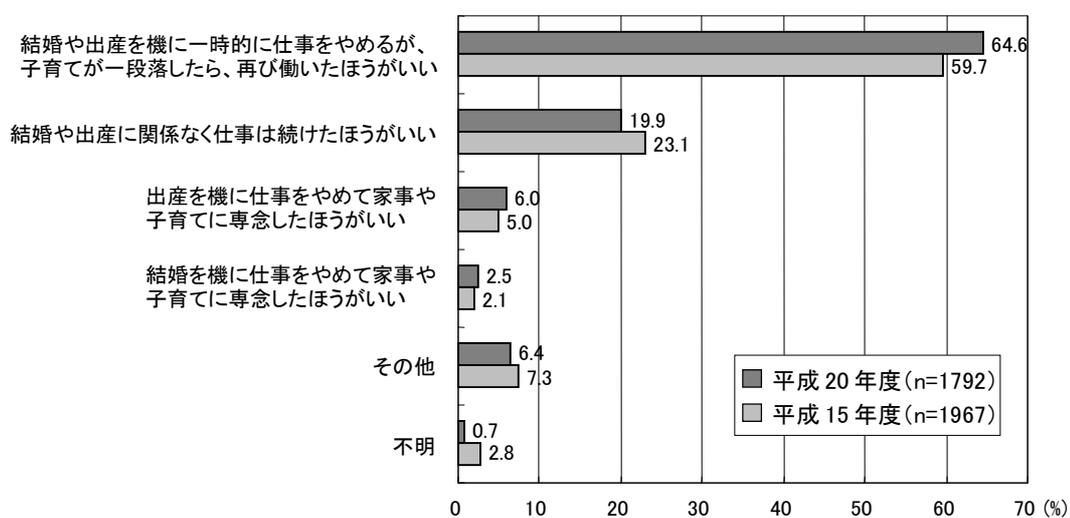


- 結婚や出産を機に一時的に仕事をやめるが、子育てが一段落したら、再び働いたほうがいい
- 結婚や出産に関係なく仕事は続けたほうがいい
- 出産を機に仕事をやめて家事や子育てに専念したほうがいい
- 結婚を機に仕事をやめて家事や子育てに専念したほうがいい
- その他
- 不明

前回調査と比べると、「子育てが一段落したら、再び働いたほうがいい」が 59.7% から 64.6% と 4.9 ポイント増加している。

逆に、「結婚や出産に関係なく仕事は続けたほうがいい」は、23.1% から 19.9% と 3.2 ポイント減少している。

子育てと女性の就業（単数回答）【前回比較】

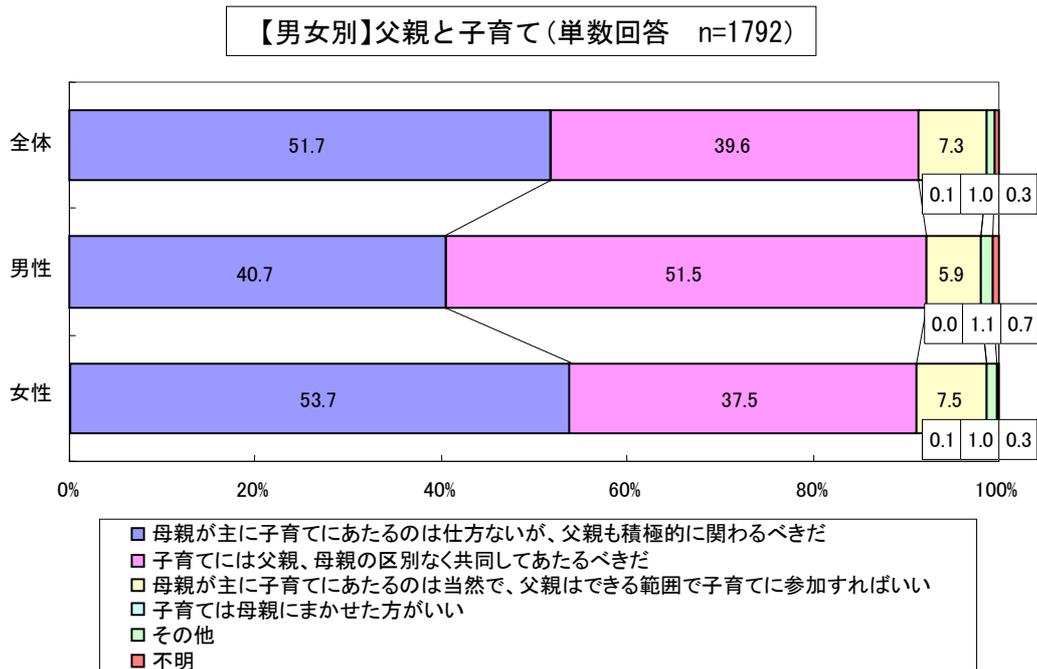
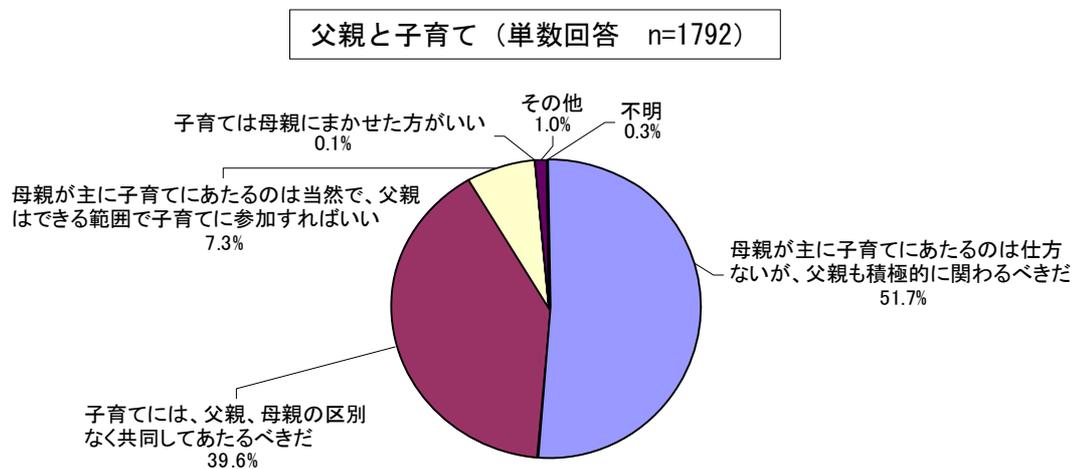


(4) 父親と子育て

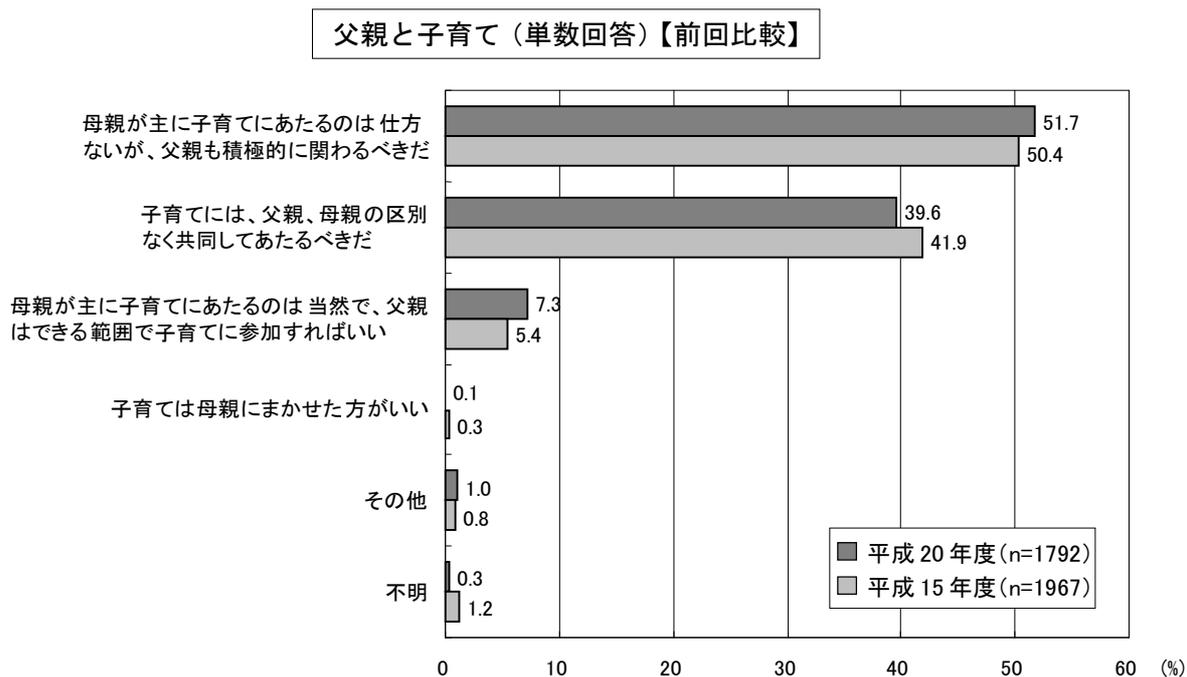
「母親が主に子育てにあたるのは仕方ないが、父親も積極的に関わるべきだ」が51.7%と最も多い。次いで、「子育てには、父親、母親の区別なく共同してあたるべきだ」が39.6%、「母親が主に子育てにあたるのは当然で、父親はできる範囲で子育てに参加すればいい」は7.3%となっている。

小学校入学前児童の保護者と比べると（54 ページ参照）、小・中学生の保護者は「共同してあたるべきだ」の割合が多く、「父親も積極的に関わるべきだ」の割合が少なくなっている。

男女別にみると、男性では「共同してあたるべきだ」が51.5%と半数を超えているのに対し、女性では「父親も積極的に関わるべきだ」が53.7%となっている。



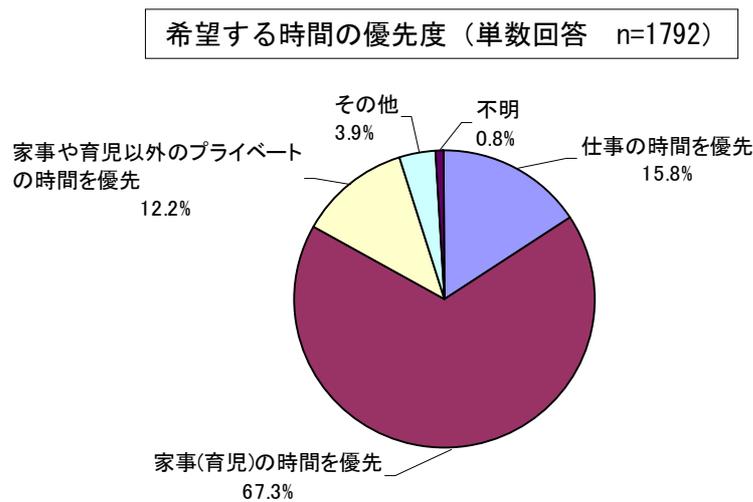
前回調査と比べると大きな変化はみられないが、「父親、母親の区別なく共同してあたるべきだ」の回答が減り、かわりに、「父親も積極的に関わるべきだ」と、「父親はできる範囲で子育てに参加すればいい」が増えている。



(5) 生活の中での時間の優先度

●希望する時間の優先度

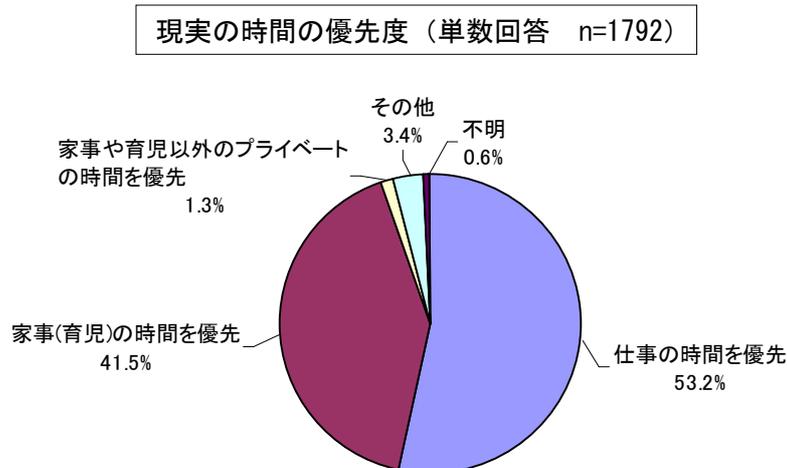
「仕事の時間を優先」は15.8%である。「家事（育児）の時間を優先」が67.3%と最も多い。また、「家事や育児以外のプライベートの時間を優先」は12.2%となっている。



●現実の時間の優先度

「仕事の時間を優先」が53.2%となり、「家事（育児）の時間を優先」は41.5%となっている。

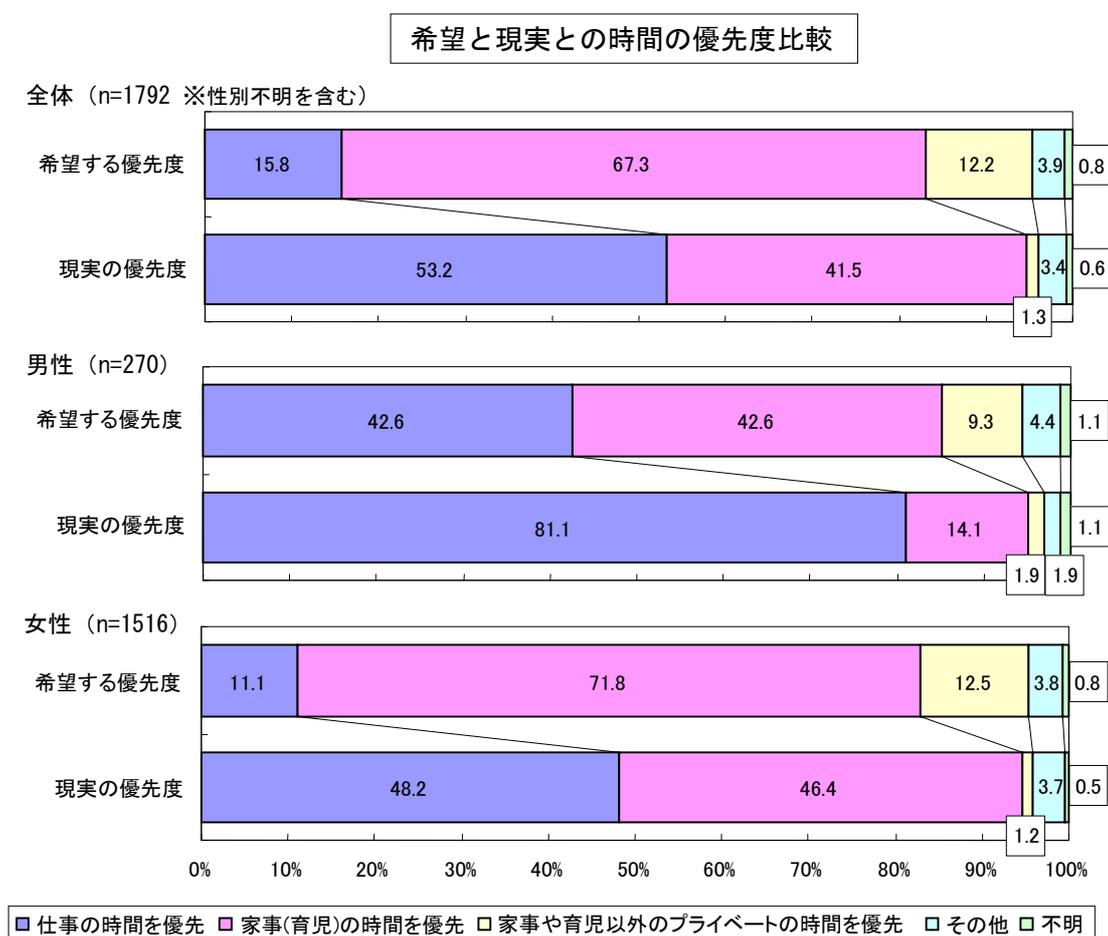
また、「家事や育児以外のプライベートの時間を優先」は1.3%と極めて低い割合となった。



●希望と現実との時間の優先度比較

「仕事を優先」は「希望」の15.8%が「現実」では53.2%となっている。逆に、「家事（育児）を優先」は「希望」の67.3%が「現実」では41.5%となっている。また、「プライベートの時間を優先」は「希望」では12.2%であるが、「現実」は1.3%と大幅に少なくなっている。

男女別では、「家事（育児）を優先」は、男性が「希望」で42.6%としているものの、「現実」では14.1%に、女性では同様に71.8%が46.4%となっている。



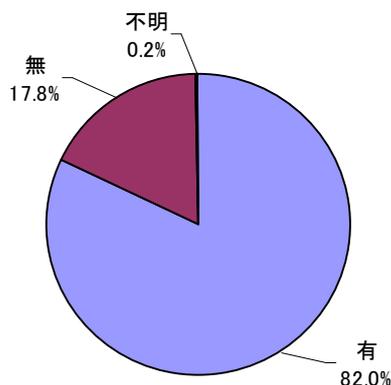
4. 小児医療

(1) 休日・夜間の小児科外来の受診

休日・夜間の小児科外来を利用したことがある人は 82.0%となった。

小学校入学前児童の保護者では 74.7%であったことから (58 ページ参照)、小・中学生の保護者の方が子どもの年齢が高い分、利用の経験が多くなっていると考えられる。

休日・夜間の小児科外来の受診 (単数回答 n=1792)



●受診した理由

受診の理由は、「休日・夜間に急に体調が悪くなった」が 96.8%と大半を占めている。

また、「平日の昼間から体調が悪かったが、仕事が休めず受診できなかった」が 7.4%となっている。「昼間に家庭の都合などがあり受診が遅れてしまった」は 1.9%となった。

小学校入学前児童の保護者とほぼ同じ割合となっている。

受診した理由 (複数回答 (すべて) n=1470)

